

初めて徳島の LED 技術がカンボジアに進出！

夜間の交通安全対策に徳島 LED「ピカロット」を展開

国際協力機構(JICA)は1月20日、「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」において富士建設工業株式会社(徳島県徳島市 小林 佳司代表取締役)が提案する「点滅式ソーラ LED ライトによる交通危険地域の安全対策を確保するシステムにかかる案件化調査」(カンボジア国)を採択しました。

急速な経済成長に伴い物と人の移動が活発化するカンボジアでは、運送や移動の長距離化・長時間化により道路交通の危険性が深刻化しています。照明灯・誘導灯が設置されていない地域も多く存在し、夜間走行での交通事故死傷者数は年々増加の一途を辿っています。

富士建設工業株式会社が提案する「ピカロット」は、太陽光発電と LED ライトを組み合わせた LED 埋設型コンクリートで、日中充電し夜間に自動点灯する仕組みになっています。交通危険区域の既存の縁石や車道部に簡単に埋設でき、13 時間以上誘導灯として通行区分を明示します。停電時や災害時にも夜間照明として活用でき、日本国内においては交通安全対策のみならず防災対策としても導入されています。



徳島 LED バレイ構想認可製品「ピカロット」



日本国内での設置事例

今回の調査では、カンボジア公共事業運輸省と協議の上、「ピカロット」の試験設置箇所を検討し、試用をとおして夜間通行時の安全対策効果や製品の耐久性等を検証します。同時に、カンボジアでの具体的な事業展開計画の策定や、ODA 事業での活用可能性について検討します。

この調査は、途上国の開発ニーズと日本の中小企業の優れた製品・技術等とのマッチングを行い、製品・技術を ODA 事業に活用するための 情報収集・事業計画立案等を支援することを目的とした「案件化調査」として実施されます。2015 年度第 2 回分は昨年 9 月に公示を行いました。120 件の応募のうち 34 件が採択され、今後の契約交渉を経て契約に至ったものから、順次調査を実施します。

参考:2015 年度第 2 回公示の採択結果について

URL : http://www.jica.go.jp/announce/notice/investigation/ku57pq00001moz9h-att/investigation_201502_result.pdf

【本件に関する問い合わせ先】

独立行政法人国際協力機構 四国支部(JICA 四国) 担当: 高井、有江

TEL:(087)821-8824 E-mail: Takai.Masao@jica.go.jp | Arie.Yuki@jica.go.jp